

平成26年度 第5次鯖江市総合計画推進にかかる施策方針

第5次鯖江市総合計画の着実な推進を目的として、平成26年4月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成27年3月

教育委員会事務部長 友永英宣

1 総括

- 1 子ども達が、安全で安心して学び活動できる教育環境の整備に努め、鳥羽小学校、中央中学校、東陽中学校の耐震補強工事と全小中学校の空調設備を整備しました。豊小学校の屋内運動場と屋外運動場等外構工事を終え全面改築事業を終了することができました。また、社会教育施設やスポーツ施設などについても、早期の維持補修や適切かつ効率的な管理に努め、施設の長寿命化に取り組みました。
- 2 食育を基盤として、確かな学力、豊かな心、たくましい体を育む学校教育の推進に努めました。確認テストや新聞の活用とともに、今年度はICTを活用した授業を推進して学力向上に努めるとともに、外部講師派遣による児童生徒の体力向上にも努めました。地域と連携した食育の推進、地場産業製造体験、職場体験、デザイン実習、ものづくり博覧会参加等を通して、本市産業の理解を深め職業観育成に努めました。
- 3 幼児期の子どもたちが心も体も元気で健やかに育つために、遊びを通して、基本的な生活習慣の定着や社会性・道徳性の基礎を培いつつ、健康な体づくりに努めました。特に、異年齢集団での活動を通して自立心を芽生えさせたり、小学校への円滑な移行を図るために幼稚園と小学校の交流事業の充実に努め、地域に開かれた園として子育て支援活動に取り組みました。
- 4 青年層を含め多くの地域住民が各種地域の事業等に参加し、子ども達と交流したことにより、地域の教育力向上と青年活動の推進につながりました。
- 5 生涯学習によって高齢者が仲間づくりの輪を広げながら、ともに学び、ともに生きる喜びを分かち合い、健康長寿と社会貢献に取り組み、地域社会活動の活性化に努めました。
- 6 市民が直接文化に触れることができる場を積極的に提供するとともに、文化財の調査や保存、活用に取り組むことにより、市民の郷土に対する愛着と誇りの醸成を図り、豊かな心を育む文化の薫るまちづくりに努めました。
- 7 スポーツ施設の環境整備や備品を整備し、市民が快適に安全で安心して利用できるよう努めました。また、幼児から高齢者まで幅広い年齢層でスポーツ習慣が定着するよう、身近なスポーツ機会の取り組みに努めました。
平成30年に開催される「第73回国民体育大会」、および「第18回全国障害者スポーツ大会」を成功に導くため、準備委員会を設立して開催に向けた諸準備に取り組みました。
- 8 文化の館では、様々な分野から書籍等を購入し図書資料の充実に図りました。また、対象年齢別に子どもの読書イベントを開催し、家庭、学校、地域と協働して子どもの読書活動を支援しました。

2 課題

- 1 鯖江市が世界に誇る地場産業への理解を深めるものづくり教育を推進しながら、郷土への誇りと愛着を育むふるさと教育を充実させる必要があります。また、ITのまち鯖江にふさわしく、ICT機器を活用した教育の取り組みやプログラミングの基礎を学ぶ活動など、ICT教育を推進していく必要があります。
- 2 子どもたちの健康な生活の基本である食育について、保護者の理解を深め、朝食摂取率の向上を一層図るとともに、食の安全の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材に感謝の念を育むために、地場産野菜等の使用率の向上に努めていく必要があります。
- 3 幼児期の育ちや学びが小学校以降の教育の土台となります。幼児期の教育と小学校の教育が滑らかにつながるために、スタート・アプローチカリキュラムの全園での普及に努めていく必要があります。
- 4 公民館をはじめとする社会教育施設や体育館等社会教育施設は、老朽化した施設が多く、また、耐震補強改修が必要な施設もあるため、今後これらの社会教育施設等の安全安心および機能充実、長寿命化を図る必要があります。
- 5 市民の図書館として、多様化するニーズに応えることが求められています。市民のニーズを的確に捉え、さらに利便性の推進を図る必要があります。ITの普及に伴って、若年層をはじめ活字離れが急速に進んでいます。図書利用率を伸ばすために、本への興味をかきたてるよう、読書推進のための企画や工夫が必要となります。
- 6 平成30年に開催される「福井しあわせ元気国体」に備え、本市を競技会場とする「体操」と「なぎなた」競技を円滑に実施運営するための施設を整備する必要があります。また、この大会を通して、市民のスポーツ振興や地域づくりに繋げるとともに、一過性のイベントとして終らせることなく、将来のまちづくりとして価値あるものになるよう取り組んでいく必要があります。

3 重点的に進める項目の取組結果

<取組項目>	<取組結果>
<p>1. 施設の計画的整備</p> <p>小中学校や幼稚園の学校施設の整備や改修、維持補修を計画的に行うとともに適切な管理による施設の長寿命化とともに、小中学校の教室等に空調設備を整備し、年間を通じ児童の快適な教育環境整備を図ります。また、小中学校の吊り天井等の非構造部材の耐震化方を決定し、安全な教育環境整備を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 小中学校の耐震化率 59棟/60棟 98% ◆ 【新】小学校教室等空調設備の整備率 172教室/172教室 100% ◆ 中学校教室等空調設備の整備率 90教室/90教室 100% ◆ 【新】小中学校の非構造部材の安全対策方針の決定 14小中学校/14小中学校 100% 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>豊小学校全面改築を完成し、鳥羽小学校、中央中学校、東陽中学校の校舎の耐震化を進めるとともに適切な施設の管理、維持補修に努めました。小学校、中学校の普通教室、給食室に空調設備を整備しました。また、屋内運動場、武道場、多目的ホール等の大規模空間を有する小中学校（新築の豊小学校を除く14校）の非構造部材の安全対策方針、実施設計を完了し、平成27年度に施行する見込みとなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 小中学校の耐震化率 59棟/60棟 98% [A] ◆ 小学校教室等空調設備の整備率 172教室/172教室 100% [A] ◆ 中学校教室等空調設備の整備率 90教室/90教室 100% [A] ◆ 【新】小中学校の非構造部材の安全対策方針の決定 14小中学校/14小中学校 100% [A]
<p>2-1. 基礎学力の定着と体力の向上</p> <p>基礎学力の定着のために、児童の学習到達度を適切に把握し、つまづき解消のための指導の工夫・改善を行うとともに、ICT機器や新聞を活用した授業を推進し、一層の学力向上を目指します。また、学校体育の授業内容充実と指導教員の資質向上を図り、児童生徒の体力の向上を目指します。さらに、地域の歴史や文化を学ぶとともに、小学校は地場産業製造体験や施設見学、中学校は職場体験やデザイン実習を通して、本市産業の理解を深め職業観を育てる活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自作の市確認テストの実施 2回 ◆ 【新】ICT機器を活用した公開授業 全小中学校1回 ◆ 新聞を活用した授業の実施 全小中学校1回 ◆ 外部講師（アスリート）を派遣 全小中学校1回 ◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校の1学年の全児童を対象に実施 ◆ 眼鏡のデザイン実習の実施 全中学校の1学年の全生徒を対象に実施 ◆ ものづくり博覧会への参加 全中学校の1学年の全生徒を対象に実施 	<p>目標を概ね達成しました。</p> <p>市独自の確認テストを実施し、児童の学習到達度の把握や指導の工夫・改善を行いました。また、ICT機器や新聞を活用した授業を推進し、学力向上に努めました。学校体育の授業内容充実と指導教員の資質向上を図るため、外部講師を派遣し、児童生徒の体力向上に努めました。さらに、小学校は地場産業製造体験や施設見学、中学校は職場体験やデザイン実習、ものづくり博覧会参加を通して、本市産業の理解を深め職業観育成に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自作の市確認テストの実施 2回 [A] ◆ 【新】ICT機器を活用した公開授業 全小中学校2回 [A] ◆ 新聞を活用した授業の実施 全小中学校1回 [A] ◆ 外部講師（アスリート）を派遣 全小中学校1回 [A] ◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校で実施 106日（平均8.8日） 全中学校で実施 9日（平均 3日） ◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校の1学年の全児童が参加 [A] ◆ 眼鏡のデザイン実習の実施 中央・東陽中学校の1学年の全生徒が参加 [C] ◆ ものづくり博覧会への参加 全中学校の1学年の全生徒が参加 [A]
<p>2-2 食育の推進</p> <p>子どもたちの健全な心身の成長のため、食育を教育の基盤として位置づけ、その推進に努めるとともに、食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育むため、地域との連携により各小学校の学校給食の活用を図りながら、地場産（鯖江産）野菜等の使用率の向上を目指します。また、体力づくりや健康を意識して学校給食を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 朝食摂取率 100% ◆ 地場産野菜学校給食の日 全幼小中学校 2回 ◆ ミニ地場産デー・アイアンの日・歯っぴーの日 全幼小学校 11回（8月除く毎月1回） 	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>子どもたちの健全な心身の成長のため、食育の推進に努めました。食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育むため、地域との連携により各小学校の学校給食の活用を図りながら、地場産（鯖江産）野菜の摂取理解に努めました。また、健康な体づくりを意識して学校給食の提供に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 朝食摂取率 小99.2% 中97.7% [A] ◆ 地場産野菜学校給食の日 全幼小中学校 2回 [A] ◆ ミニ地場産デー・アイアンの日・歯っぴーの日 全幼小学校 11回（8月除く毎月1回） [A]

<取組項目>	<取組結果>
<p>3. 幼児教育の充実</p> <p>異年齢集団での遊びを通して、基本的な生活習慣の定着や社会性・道徳性の基礎を培いつつ、健康な体づくりに努めます。また、小学校への円滑な移行を図るため、幼稚園と小学校の交流事業の充実に努めるとともに、地域に開かれた園として子育て支援活動に取り組みます。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 園内異年齢（縦割り）交流活動の実施 各園 2回 ◆ 幼稚園と小学校の交流事業 各園10回 ◆ 園開放事業「遊びにおいて」の実施 各園20回 </p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>異年齢集団での活動を通して、基本的な生活習慣の定着、社会性、道徳性の基礎の育成、健康な体づくりに努めました。また、小学校への移行を円滑にするため、幼稚園と小学校の交流活動を積極的に実施しました。さらに、地域に開かれた園として子育て支援活動に努めました。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 園内異年齢（縦割り）交流活動の実施 各園 2回 [A] ◆ 幼稚園と小学校の交流事業 各園平均33回 [A] ◆ 園開放事業「遊びにおいて」の実施 各園平均24回 [A] </p>
<p>4-1. 地域の教育力の向上</p> <p>地域住民が主体となって、地域の小学生を対象に地域住民と子どもたちの交流を通して公民館等で合宿通学事業を行うことにより、地域の子どもは地域で育てると意識の醸成や地域の教育力の向上を図ります。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公民館合宿通学事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの参加者数 480人 ・ボランティアの参加者数 1,440人 </p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>地区合宿通学事業は、8地区で実施しました。企画から運営に多くの地域住民が参加し、子ども達を育む活動によって、本来の目的は達成できました。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公民館合宿通学事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの参加者数 438人 [B] ・ボランティアの参加者数 1,426人 [A] </p>
<p>4-2. 地域における青年活動の推進</p> <p>各地区公民館で開催する青年講座を契機として、青年たちの相互理解や地域理解を深めるとともに、地域の活性化やまちづくりにつながるよう、地域における青年活動の活性化を推進します。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域青年交流事業の参加者数 900人 </p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>各地区における青年層の組織化が進んでおり、地区体育大会はじめ地区のイベントや青年層の交流事業への参加者が増え、地域における青年層の相互理解、地域理解につながりました。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域青年交流事業の参加者数 1,004人 [A] </p>
<p>5. 高年大学の活性化</p> <p>健康長寿および社会貢献を目的として、カリキュラムを充実するとともに、大学の活動を地域の諸活動とつなぎネットワークとして組み込むため、まちなか授業や課外授業などを「市民公開講座」として開催します。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 健康・体育関連授業 60回 2,600人 ◆ 社会貢献関連授業 18回 700人 ◆ 公開講座開催 20講座 参加者数600人 </p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>健康長寿および社会貢献を目的として、カリキュラムを充実するとともに、大学の活動を地域の諸活動とつなぎネットワークとして組み込むため、まちなか授業や課外授業などを「市民公開講座」として開催しました。</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 健康・体育関連授業 63回 2,321人 [B] ◆ 社会貢献関連授業 20回 1,237人 [A] ◆ 公開講座開催 26講座 参加者数734人 [A] </p>

<取組項目>	<取組結果>
<p>6-1. 文化財の調査、保存、啓発の推進</p> <p>古墳群をはじめとする貴重な文化遺産を幅広く調査し保存の処置を講ずるとともに、優れた伝統芸能や技術を継承する市民・団体の文化財指定も進め、文化財を後世に引き継いでいくための事業を推進します。また、市内の文化遺産や指定文化財について、市民がさらに理解を深め、その保存と活用について身近に考えることができるような事業を開催します。</p> <p>◆ 国・県・市指定文化財の新規登録数 10箇所 ◆ イベントでの目標参加者数 合計 850人 ・まちかど歴史浪漫コンサート (300人) ・間部詮勝プロジェクト講演会および学習会 (450人) ・古墳見学会、説明会 (100人)</p>	<p>【成果等】 目標達成にはいたりませんでした。</p> <p>今北山古墳群の発掘調査では、群中最大の今北山古墳については埋葬施設のレーダー探査を実施し、石室が存在しない可能性を掴みました。指定・登録文化財候補については10件を現地調査し、このうち3件が文化財となる見込みです。このほか、文化財コンサートで建造物の活用を図るとともに、間部詮勝顕彰事業の最終年度として講演会等には多数の参加者を得ました。</p> <p>◆ 国・県・市指定文化財の新規登録数 3箇所[C] ◆ イベントでの目標参加者数 合計 930人[A] ・まちかど歴史浪漫コンサート 300人 ・間部詮勝プロジェクト講演会および学習会 350人 ・古墳見学会、説明会 280人</p>
<p>6-2. 文化活動への参加と、豊かな心を育む文化のまちの推進</p> <p>郷土の歴史・伝統・文化に触れることにより、自信と誇りの持てるまちを創造するとともに、市民や子どもたちの文化意識の高揚と、郷土に対する愛着心の醸成に努めます。</p> <p>◆ 【新】近松専門講座 来場者数 100人 ◆ 子どもたちを対象にした芸術文化体験事業 参加者数 350人 ◆ 市美術展の開催 出品数 450点 来場者数 10,000人 ◆ ふるさとさばえ検定の実施 70人 ◆ 【新】間部詮勝公藩主就任200年記念 市民参加型演劇「龍神」 来場者数 800人</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>鯖江市美術展は12月開催の2年目となりましたが、天候の関係等で来場者は昨年度より減少したものの、出品数は若干増加しました。また、間部詮勝をテーマとしたふるさとさばえ検定は、受験者数が目標を下回りましたが、市民参加型演劇「龍神」は目標を超えた集客を得て、顕彰事業の目的を果たしました。その他のイベントについては、文化活動への参加促進を図りました。</p> <p>◆ 【新】近松専門講座 来場者数 130人[A] ◆ 子どもたちを対象にした芸術文化体験事業 参加者数 350人[A] ◆ 市美術展の開催 出品数 450点 来場者数 10,088人[A] ◆ ふるさとさばえ検定の実施 63人[B] ◆ 【新】間部詮勝公藩主就任200年記念 市民参加型演劇「龍神」 来場者数 900人[A]</p>
<p>6-3. まなべの館を活用した文化活動への参加と、文化に触れる機会の提供</p> <p>登録博物館であるまなべの館を活用して、市民が、広く文化芸術に触れて、鑑賞・参加・創造することができる機会の提供を図ります。</p> <p>◆ まなべの館企画展開催事業【3企画】来場者数 合計 5,000人 ・守り育てたい丹南の自然 -ずっとそとと野鳥のそばで- (1,000人) ・山本容子版画展 (2,000人) ・間部詮勝の時代 (2,000人) ◆ まなべの館創造空間事業（貸館事業） 10,000人</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>3つの企画展は好評を得て、当初の来場見込み者数を上回ることができました。またまなべの館の貸館事業の来館者数も見込み者数の約1.3倍となると思われ、年々、市民がまなべの館に足を運び、直接文化芸術に触れて、鑑賞・創造しようとする意識が高まり、市民主体の文化振興につながってきています。</p> <p>◆ まなべの館企画展開催事業【3企画】来場者数 合計 5,700人[A] ・守り育てたい丹南の自然 -ずっとそとと野鳥のそばで- 800人 ・山本容子版画展 2,500人 ・間部詮勝の時代 2,400人 ◆ まなべの館創造空間事業（貸館事業） 13,000人[A]</p>

<取組項目> □ □	<取組結果>
<p>7-1. 青少年がスポーツに親しむ環境づくりの推進</p> <p>青少年の心身の健全な発育・発達を願い、生涯を通してスポーツに親しむことができるよう、(一社)鯖江市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団など、各種スポーツ団体が連携、協働して、地域全体でスポーツ活動を行う環境づくりに努めます。また、小学生においては、学校と各種スポーツ団体とが連携して、スポーツ少年団やスポーツクラブへの一層の加入促進を目指します。</p> <p>◆ スポーツクラブ会員数 2,300人 ◆ 小学生のスポーツ少年団およびスポーツクラブの加入率 33.0%</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>鯖江市体育協会と協同して、トップアスリートによる青少年スポーツ教室を開催したほか、「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」を通じて、生涯スポーツを推進する環境づくりに努めました。また、総合型地域スポーツクラブが実施している「学校体育支援」など、学校とスポーツ団体の協同による青少年育成事業を支援し、スポーツ少年団やスポーツクラブへの加入促進を図りました。</p> <p>◆ スポーツクラブ会員数 2,165人[B] ◆ 小学生のスポーツ少年団およびスポーツクラブの加入率 33.9%[A]</p>
<p>7-2. 市民各層におけるスポーツ習慣の定着と市全体の生涯健康および生涯スポーツ社会の推進</p> <p>鯖江の恵まれたスポーツ環境を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツ教室やスポーツイベントの開催を通じて元気と活力あふれるまちづくりを目指します。また、高齢者・障がい者向けのスポーツ教室を開催し、スポーツ推進委員やスポーツ指導者と連携しながら、誰もがスポーツを続けられる社会を推進します。</p> <p>◆ 小学校・老人団体等へスポーツ出前講座 10回 800人 ◆ 健康教室、ニュースポーツ教室・スポーツ交流事業 40回 1,000人</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした「ニュースポーツ教室」、「出前講座」を市内の各地で開催するなど、身近なスポーツ機会の取り組みに努めました。</p> <p>◆ 小学校・老人団体等へスポーツ出前講座 12回 1,011人[A] ◆ 健康教室、ニュースポーツ教室・スポーツ交流事業 59回 1,441人[A]</p>
<p>7-3. 全市的な国民体育大会開催の推進</p> <p>平成30年第73回国民体育大会、福井しあわせ元気国体の競技等の準備のため市民、各種関係団体からなる準備委員会を設置し、市民が喜びと感動を共有できる魅力ある大会になるよう取り組みます。</p> <p>◆ 【新】国民体育大会準備委員会の設置 10月</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>平成30年開催の「第73回国民体育大会」、「第18回全国障害者スポーツ大会」を成功に導くため、開催準備委員会を設立して開催に向けた準備に取り組みました。</p> <p>◆ 平成30年「福井しあわせ元気」国体、障害者スポーツ大会鯖江市準備会の設立 平成26年10月3日 [A]</p>

<取組項目>	<取組結果>																				
<p>8-1. 文化の館における図書資料の充実および市民との協働事業の推進</p> <p>市民の知的財産である図書資料の充実を図り、市民の求める資料に応えます。市民との協働事業として様々な分野で活躍している人を講師に招き、気楽な雰囲気の中で学ぶサロンを開催し、市民に知識や教養を深める場を提供します。また、地元の演奏家などを招いてコンサートを開催し、演奏家に発表の場を提供するとともに、音楽のある生活の豊かさを推奨します。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">◆ 図書の貸し出し冊数</td> <td style="text-align: right;">50万冊</td> </tr> <tr> <td>◆ 図書リクエストへの対応率</td> <td style="text-align: right;">90%</td> </tr> <tr> <td>◆ 「ライブラリーカフェ」</td> <td style="text-align: right;">12回 500人</td> </tr> <tr> <td>◆ 「カフェコンサート」</td> <td style="text-align: right;">2回 200人</td> </tr> </table>	◆ 図書の貸し出し冊数	50万冊	◆ 図書リクエストへの対応率	90%	◆ 「ライブラリーカフェ」	12回 500人	◆ 「カフェコンサート」	2回 200人	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>市民の求める資料の提供として、図書リクエストへの対応を推進しました。「ライブラリーカフェ」は市民の知的欲求に応えるものとして定着し、10年目を迎えました。来年度も継続して実施します。大学のない鯖江市ですが、県立大学と福井大学との連携が図れ、最先端の研究や深い思索を市民に提供することができました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">◆ 図書の貸し出し冊数</td> <td style="text-align: right;">40万冊[B]</td> </tr> <tr> <td>◆ 図書リクエストへの対応率</td> <td style="text-align: right;">96%[A]</td> </tr> <tr> <td>◆ 「ライブラリーカフェ」</td> <td style="text-align: right;">12回 500人[A]</td> </tr> <tr> <td>◆ 「カフェコンサート」</td> <td style="text-align: right;">3回 432人[A]</td> </tr> </table>	◆ 図書の貸し出し冊数	40万冊[B]	◆ 図書リクエストへの対応率	96%[A]	◆ 「ライブラリーカフェ」	12回 500人[A]	◆ 「カフェコンサート」	3回 432人[A]				
◆ 図書の貸し出し冊数	50万冊																				
◆ 図書リクエストへの対応率	90%																				
◆ 「ライブラリーカフェ」	12回 500人																				
◆ 「カフェコンサート」	2回 200人																				
◆ 図書の貸し出し冊数	40万冊[B]																				
◆ 図書リクエストへの対応率	96%[A]																				
◆ 「ライブラリーカフェ」	12回 500人[A]																				
◆ 「カフェコンサート」	3回 432人[A]																				
<p>8-2. 子どもの読書活動支援の推進</p> <p>未来を担う子どもたちの心を培うため、対象年齢別に子どもの読書支援イベントを実施します。学校、家庭、地域と連携協働を図り「学校図書館支援センター」を核として、学校図書ボランティアの育成に努めて、子どもの読書活動支援を推進します。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">◆ こどもの読書支援イベントの実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 「絵本とよちよち1・2・3」</td> <td style="text-align: right;">12回 参加者数180人</td> </tr> <tr> <td>◆ 学校図書館支援センター事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 「図書館司書の日」の実施</td> <td style="text-align: right;">全小学校 各15回</td> </tr> <tr> <td>・ 【新】こども読書感想文講座の実施</td> <td style="text-align: right;">1回 参加者数40人</td> </tr> </table>	◆ こどもの読書支援イベントの実施		・ 「絵本とよちよち1・2・3」	12回 参加者数180人	◆ 学校図書館支援センター事業		・ 「図書館司書の日」の実施	全小学校 各15回	・ 【新】こども読書感想文講座の実施	1回 参加者数40人	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>SNSの活用により、こどもの読書支援イベントをPRし、若い保護者にも情報提供ができました。また、教師と学校図書館ボランティアと連携して子どもの読書環境づくりを進めることができました。課題解決として、こどもの読書感想文講座を実施し多くの参加を得ました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">◆ こどもの読書支援イベントの実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 「絵本とよちよち1・2・3」</td> <td style="text-align: right;">12回 参加者数207人[A]</td> </tr> <tr> <td>◆ 学校図書館支援センター事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 「図書館司書の日」の実施</td> <td style="text-align: right;">全小学校 各17回[A]</td> </tr> <tr> <td>・ 【新】こども読書感想文講座の実施</td> <td style="text-align: right;">1回 参加者数73人[A]</td> </tr> </table>	◆ こどもの読書支援イベントの実施		・ 「絵本とよちよち1・2・3」	12回 参加者数207人[A]	◆ 学校図書館支援センター事業		・ 「図書館司書の日」の実施	全小学校 各17回[A]	・ 【新】こども読書感想文講座の実施	1回 参加者数73人[A]
◆ こどもの読書支援イベントの実施																					
・ 「絵本とよちよち1・2・3」	12回 参加者数180人																				
◆ 学校図書館支援センター事業																					
・ 「図書館司書の日」の実施	全小学校 各15回																				
・ 【新】こども読書感想文講座の実施	1回 参加者数40人																				
◆ こどもの読書支援イベントの実施																					
・ 「絵本とよちよち1・2・3」	12回 参加者数207人[A]																				
◆ 学校図書館支援センター事業																					
・ 「図書館司書の日」の実施	全小学校 各17回[A]																				
・ 【新】こども読書感想文講座の実施	1回 参加者数73人[A]																				